

活用状況報告

おokayama国際協力大使

小野由貴

所属について

- 青年海外協力隊 2016年度2次隊
- 派遣国:モンゴル
- 職種:ソーシャルワーカー
- 配属先:ドルノド県 ドルノド大学社会人文学部ソーシャルワーカー養成科



バレーボール寄贈セレモニー

- 日時: 2018年9月3日(月) 13:30~14:00
- 場所: ドルノド大学 講堂
- 参加者: 学生(体育科の学生を中心に、ソーシャルワーク養成科など)、教員
- 内容: バレーボール寄贈に至った経緯と経過説明、岡山県と寄贈に協力して下さった団体と個人の紹介、バレーボール寄贈、写真撮影



バレーボール寄贈セレモニー





バレーボール寄贈セレモニー



バレーボール寄贈セレモニー



活用状況(予定含む)

- 体育の授業(大学、附属高校)
- クラブ活動
- バレーボール大会(大学、地域など)
- ドルノド大学体育科卒業生が働いている県内の村(バヤンオール村、マタド村、チョローンホロート村)の学校、ドルノド県スポーツセンターに各2個ずつ(計8個)寄贈予定

ドルノド大学体育科 バレーボールの授業



ドルノド大学体育科 バレーボールの授業



現地の人の反応は・・・

予想以上のものでした！！

- 今まで使っているバレーボールとの質(感触、ボールの跳ね具合、素材など)がとても異なり、良い教材があることでより質の高いバレーボール指導ができることをとても喜んでいました。
- 空気入れ、ボールを運ぶバッグもご厚意で一緒に送っていただきましたが、今までそのようなものは無かったので、大変反響がありました。
- 寄贈を依頼した当初は、大学内での使用ということで聞いていましたが、その後の話で大学だけでなく、村の学校で働いている卒業生たちにも活用してほしいと僅かではありますが、寄贈する予定とのことでした。

最後に

- モンゴルは冬が長く、冬の気温は $-30\sim-20^{\circ}\text{C}$ という極寒の世界です。外で体を動かす機会に恵まれていない背景もあり、バレーボールはとても親しまれているスポーツです。学生、教員、地域のバレーボール大会もドルノド大学を会場に頻繁に行われています。
- 今回寄贈して下さったバレーボールは、本当に現地の多くの人の助けになりました。
- 私からはただ一点、「長く、大切に使ってください」と強くお願いしました。
- これから始まる長く厳しい冬を前に、あたたかい気持ちのこもったバレーボールを送ってくださり、心からお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

